

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第216号

令和3年10月1日

発行所 大阪防衛協会

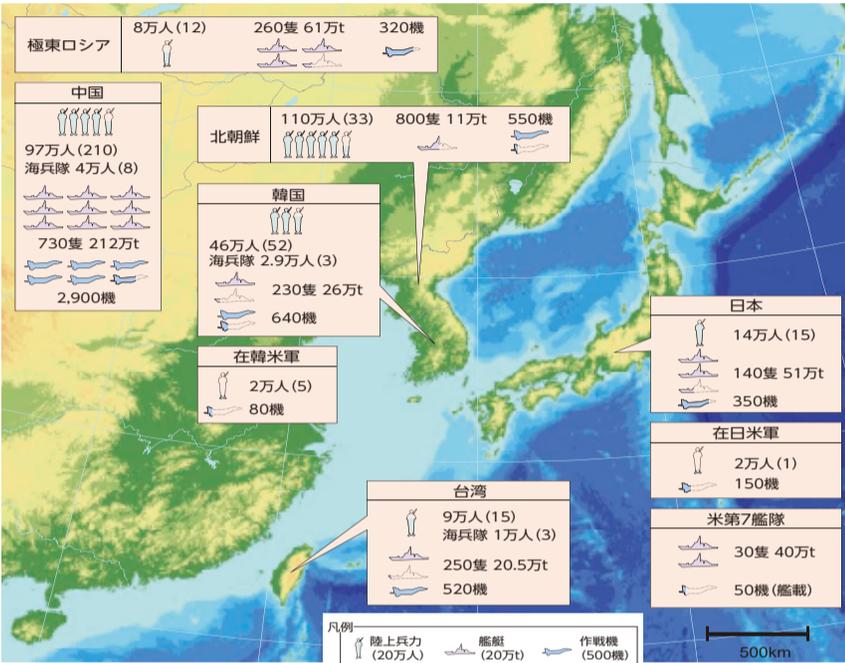
(〒541-0041) 大阪市中央区北浜3丁目5番19号 淀屋橋ホワイトビル701号 TEL 06-6202-8284 E-mail: tek@ace.odn.ne.jp

発行人 井上礼之 編集責任者 蛭原康治 印刷所 (株)DNPメディアサポート

我が国周辺で何が起こっているのか? (VI)

(わが国の防衛体制 第2面に「日本の安全保障小史」事態別の自衛隊の行動) 令和3年版防衛白書等から抜粋

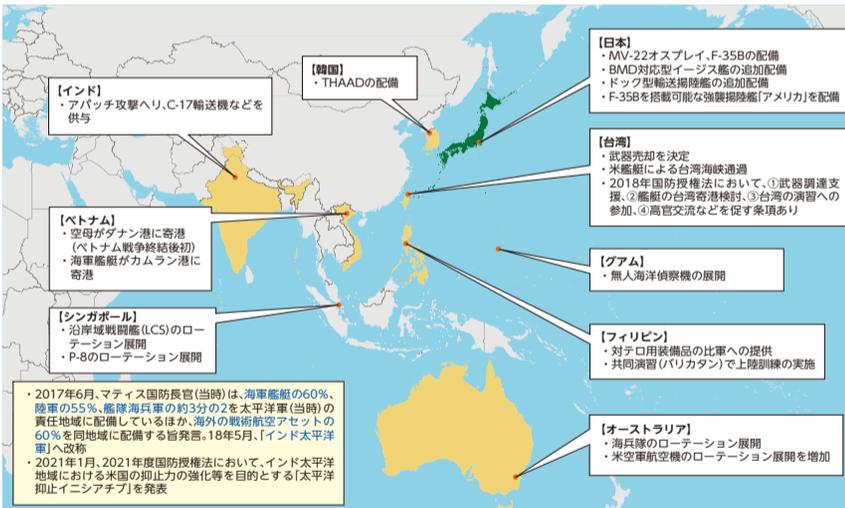
☆わが国周辺における主な兵力の状況 (概数)



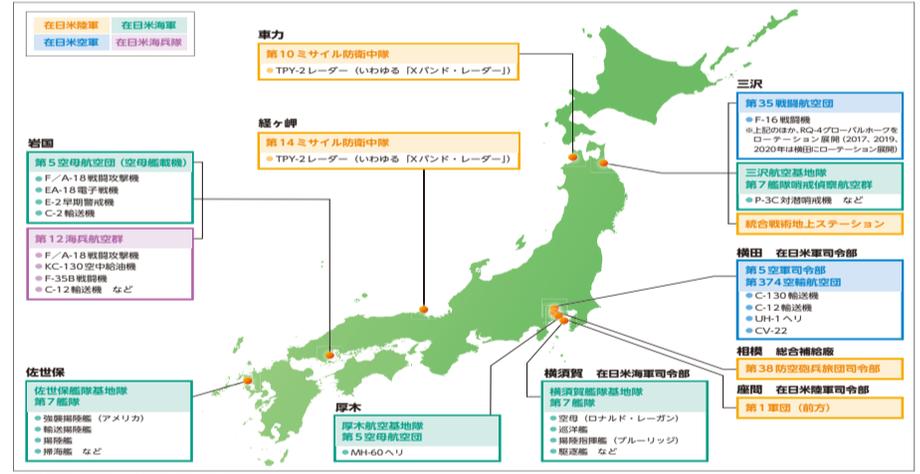
☆日本の領空・領海・排他的経済水域



☆インド太平洋地域への関与 (イメージ)



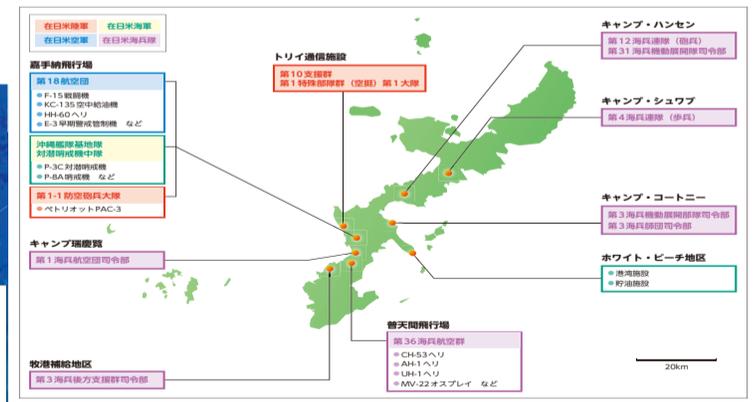
☆沖縄を除く地域における在日米軍主要部隊などの配置図 (令和2年度末現在)



☆わが国周辺で確認された中国海空軍 (海上・航空自衛隊撮影)



☆沖縄における在日米軍主要部隊などの配置図 (令和2年度末現在)



☆九州・南西地域における主要部隊新編状況 (2016年以降) (概念図)



戦後わが国の安全保障政策小史

西 暦	安全 保障 ・ 自 衛 隊	国 際 情 勢
1941 (昭 16)	12 太平洋戦争 (対米英中蘭) 始まる	12.8 真珠湾攻撃 12 対独伊宣戦
1945 (昭 20)	8.14 ポツダム宣言受諾 8.15 第 2 次世界大戦終る 9.2 降伏文書調印	2 ヤルタ会談 (米・英・ソ) 8.9 日ソ中立条約破棄 8.6 広島 8.9 長崎に原爆投下 8.15 無条件降伏
1946 (昭 21)	5 吉田内閣成立	5 極東国際軍事裁判 10 国際連合 ニューヨーク
1947 (昭 22)	5 日本国憲法制定	3 トルーマンドクトリン
1948 (昭 23)	4 海上保安庁	4 ソ連ベルリン封鎖を開始 9 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮)
1949 (昭 24)	2 第 3 次吉田内閣	4 北大西洋条約機構 (NATO) 発足 10 中華人民共和国建国 (毛沢東) 12 国民党台湾へ移動、中台分断
1950 (昭 25)	9 警察予備隊	中ソ友好同盟相互援助条約調印 6 朝鮮戦争 (~ 53.7 朝鮮休戦協定)
1951 (昭 26)	9 サンフランシスコ講和条約締結 日米安全保障条約署名 10 保安隊発足	4 マッカーサー最高司令官解任
1952 (昭 27)	4 講話条約、日米安全保障条約発効 10 保安隊発足	1 李承晩ライン宣言 11 米水爆実験
1954 (昭 29)	7 防衛庁 陸海空自衛隊発足	9 中国人民解放軍 金門・馬祖砲撃
1956 (昭 31)	12 日本国際連合加盟	4 ソ連コミンフォルム解散 10 ハンガリー動乱
1957 (昭 32)	5 国防の基本方針決定 (専守防衛、文民統制、非核原則) 第 1 次防衛力整備計画	8 ソ連 CBM 実験 ソ連世界初の人工衛星スプートニク打ち上げ
1960 (昭 35)	6 「日米安全保障条約」地位協定締結	5 U-2 型機撃墜事件
1961 (昭 36)	陸自 13 個師団へ改変 第 2 次防衛力整備計画	1 ケネディ米大統領就任
1962 (昭 37)	11 防衛施設庁発足	10 キューバ危機
1964 (昭 39)	6 部分的核実験禁止条約	2 大阪防衛協会発足 8 トンキン湾事件
1965 (昭 40)	2 三矢研究発覚 6 日韓基本条約成立	2 ベトナム戦争 ~ 1975
1966 (昭 41)	11 第 3 次防衛力整備計画の大綱	5 中国文化大革命始まる
1967 (昭 42)	3 第 3 次防衛力整備計画決定	8 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
1969 (昭 44)	4 「F-4EJ」国産日米覚書署名	7 ニクソンドクトリン
1972 (昭 47)	9 第 4 次防衛力整備計画 9 日中国交正常化	2 米中共同声明 ニクソンショック 5 沖繩返還
1973 (昭 48)	7 自衛隊沖繩防空任務開始	3 ベトナム戦争終結 11 第 4 次中東戦争
1974 (昭 49)	4 防衛医科大学校開校	7 ニクソン大統領訪ソ
1976 (昭 51)	8 日中平和友好条約署名 10 51 防衛計画の大綱 (基盤的防衛力)	9 毛沢東死去 (文革終了) 鄧小平「改革・開放政策」
1978 (昭 53)	11 「日米防衛協力のための指針」(1)	4 中国漁船団突圍諸島周辺領海侵犯
1979 (昭 54)	7 中期業務見積もり (昭和 54 ~ 59 年)	1 米中国交正常化 (台湾と断交) 12 ソ連アフガン侵攻
1980 (昭 55)	2 海自リムパックに初参加	9 イランイラク戦争 ~ 88
1989 (平成元)	2 大喪の礼 3 新 BADGE システム運用開始	2 ソ連アフガン撤退 6 中国天安門事件 11 ベルリンの壁崩壊 12 マルタ会談 (冷戦終結)
1990 (平 2)	90 ~ 91 日本湾岸戦争に 130 億ドル拠出	8 イラクがクウェートに侵攻 10 東西ドイツ統一
1991 (平 3)	4 ベルシャ湾へ掃海艇派遣 6 雲仙普賢岳噴火災害派遣	1 湾岸戦争勃発 米ソ START1 調印 12 ソ連消滅 CIS 発足
1992 (平 4)	6 国際平和協力法施行 (PKO 法) 9 ~ 93.9 カンボジア自衛隊派遣	8 中韓国交樹立
1993 (平 5)	3 イージス艦「こんごう」就役 5 ~ 95.1 国連モザンビーク活動	3 北朝鮮 NPT 脱退 11 欧州連合 (EU) 発足 11 初の APEC 首脳会議
1994 (平 6)	9 ~ 12 ルワンダ難民 12 第 1 回アジア太平洋安全保障セミナー	4 ルワンダ虐殺 各地で地域紛争 国連海洋法条約発効
1995 (平 7)	1.17 阪神淡路大震災 3.20 地下鉄サリン事件 11.07 防衛計画の大綱 (基盤的防衛力)	3 朝鮮半島エネルギー開発機構 (KEDO) 9 沖繩駐留米兵による女子児童暴行
1996 (平 8)	日米安全保障共同宣言 2 ~ 13.1 国連兵力引き離し (UNDOF) 派遣 ACSA (日米物品役務相互提供協定)	3 台湾初の総統選挙 李登輝総統 7 国連海洋法条約発効
1997 (平 9)	1 ロシアナホトカ号重油流失災害派遣 97 「日米防衛協力のための指針」(2)	7 香港 中国へ返還

西 暦	安全 保障 ・ 自 衛 隊	国 際 情 勢
1998 (平 10)	6 改正 PKO 協法成立	北朝鮮ミサイル発射実験
1999 (平 11)	[有事法制] 武力攻撃事態・周辺事態法成立 9 トルコ国際緊急援助 11 ~ 00.2 東チモール難民支援	能登半島沖不審船事案 マカオ返還一國二制度導入
2000 (平 12)	対人地雷廃棄 12 中期防衛力整備計画 (H13 ~ H17 年)	6 南北朝鮮首脳会談
2001 (平 13)	11 ~ 07.11 テロ対策特措法 海自インド洋給油活動	9.11 米中核同時多発テロ テロとの戦い 九州南西海域不審船事案
2002 (平 14)	9 日朝首脳会談	
2003 (平 15)	武力攻撃事態対処法 イラク支援特措法	3 ~ 5 米英軍イラク攻撃開始 4 イラクフセイン政権崩壊
2004 (平 16)	1 ~ 09.2 イラク人道復興支援活動 サマワへ 12 16 防衛計画の大綱 (基盤的防衛力)	3 マドリッド列車爆破
2005 (平 17)	1 ~ 15.3 インドネシア国緊援助活動	7 ロンドン同時爆破テロ
2006 (平 18)	12 改正防衛省設置法・自衛隊法成立 「再編のための日米ロードマップ」	10 北朝鮮地下核実験
2007 (平 19)	1 防衛省 (陸海空統合) 発足	12 在日米陸軍再編 (前方司令部)
2008 (平 20)	10 ~ 11.9 国連スーダンミッション 12 イラクから空自派遣輸送航空団帰国	9 リーマンショック世界金融危機 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 発足
2009 (平 21)	3 ~ ソマリアアデン湾海賊対処 9 鳩山内閣成立	4 オバマ大統領演説
2010 (平 22)	9 尖閣諸島沖中国漁船衝突事件 12 22 防衛計画の大綱 (動的防衛力)	日米安全保障条約締結 50 周年 中国が GDP 世界第 2 位 国防動員法制定
2011 (平 23)	3.11 東日本大震災 11 ~ 国連南スーダンミッション	5 ビンラーディン殺害 12 北朝鮮金正恩体制に
2012 (平 24)	9 第 2 次安倍内閣 9 東チモール統合ミッション	3 シリア内戦 11 習近平国家主席
2013 (平 25)	1 アルジェリア日本人襲撃 中国の台頭顕著 10 台風 26 号災害派遣 (伊豆大島) 12 国家安全保障戦略 (NSS) 12 特定秘密保護法成立 12 25 防衛計画の大綱 (統合機動防衛力)	3 中国国家主席習近平「一带一路」 (中華民族の偉大な復興) オバマ「米国は世界の警察ではない」宣言
2014 (平 26)	1 国家安全保障局 (NSC) 4 「防衛装備移転 3 原則」決定 9 御嶽山災害派遣 12 新日米防衛協力のための指針」(3) (集团的自衛権の限定行使容認)	3 露 ウクライナクリミア半島併合 中国南シナ海に人工島 6 イスラム国 (IS) 国家樹立
2015 (平 27)	4 新「日米ガイドライン」策定 9 平和安全保障法制可決 10 防衛装備庁新設 12 韓国慰安婦 「最終的かつ不可逆的かつ可決」	7 イラン核合意 8 欧州難民危機 中国国家安全法制定 11 パリ同時多発テロ
2016 (平 28)	3 平和安全保障法制施行 4 熊本地震災害派遣 「自由で開かれたインド太平洋」提唱 5 G7 サミット (伊勢志摩) 10 鳥取県地震災害派遣	5 オバマ大統領広島訪問 6 英国 EU 離脱派勝利 北朝鮮初の ICBM 発射活発
2017 (平 29)	2 日米共同声明	1 トラUMP大統領就任 7 北朝鮮初の ICBM 発射 9 水爆実験 9 中ロ共同演習 (日本海オホーツク海国家情報法 サイバーセキュリティ法)
2018 (平 30)	3 米除く 11 国 TPP に署名 12 発効 7 西日本豪雨災害派遣 12 中期防決定 (イージスアショア) 12 30 防衛計画の大綱 (多次元統合防衛力)	4 日米共同声明 6 米朝首脳会談 米中対立激化 中国海警局強化武装警察部隊に編入
2019 (平 31) (令和元)	5.1 天皇陛下即位 新元号「令和」 6 主要 20 国首脳会議大阪府で開催 7.4 対韓輸出規制発動 (フッ化ポリイミドレ ジスト、高純度フッ化水素)	5 米トランプ大統領来日 8 中距離核戦力全廃条約失効 8 ~ 12 北朝鮮新型 SLBM ミサイル発射
2020 (令 2)	2 海自艦アラビヤ海で活動開始 4.7 ~ 5.25 #1 新型コロナ緊急事態宣言 6 ホルムズ海峡日本タンカー受撃 6 イージス・アショア断念 7.4 九州豪雨災害派遣 9.16 安倍内閣退陣、菅内閣発足 9.20 バイデン大統領と電話会談 11 日米印豪 4 国 (クアッド) よる演習	1 中国武漢発新型コロナ蔓延 1.11 台湾総統選挙蔡英文氏圧勝 1.30 WHO「緊急事態」宣言 4.11 新型コロナ「パンデミック」表明 7 香港で国家安全維持法施行 10.26 中国 5 中総会
2021 (令 3)	1.7 ~ 3.21 #2 新型コロナ緊急事態宣言 3 日米安全保障協議委員会 (「2+2」) 4 日米首脳会談 (菅・バイデン大統領) (日米安全保障条約 5 条尖閣諸島に適用) 4.23 ~ 6.20 #3 新型コロナ緊急事態宣言 5 ~ 11 末 自衛隊ワクチン大規模接種 7.3 熱海土砂災害 7.8 ~ 9.30 #4 新型コロナ緊急事態宣言 8.24 自衛隊輸送機アフガン出発 9.3 帰国 9.12 北朝鮮新型巡航ミサイル発射実験 9.24 日米豪印「クワッド」首脳会談	1 米バイデン大統領就任 2 ミャンマーでクーデター 2 中国改正国防法、海警法改正 4 米アフガン撤収表明 6.11 ~ 13 G7 サミット (英) (台湾明記) 7.1 中国共産党創建 100 年式典 7.23 ~ 8.8.25 ~ 9.5 東京五輪開催 8.15 アフガン政権崩壊タリバン制圧 8.26 アフガンで自爆テロ (IS ?) 8.30 米軍アフガンから撤収

事態別の自衛隊の行動 (2015年9月19日)

事 態	事 態 の 細 部	自 衛 隊 の 行 動 (台湾有事中国の行動)	安 保 法 制
グレーゾーン事態	純然たる平治でも有事でもない幅広い状況 国家間において領土主権海洋を含む経済権益などについて対立し現状の変更を試み、主張・要求の受け入れを強要しようとする状況	引き続き警戒監視活動と同時に米軍の艦船や戦闘機など自衛隊が守るなどアセット防護サイバーなどで社会インフラを攻撃	自衛隊法改正
重要影響事態	そのまま放置すれば日本に対する直接の武力攻撃に至るおそれのある事態等日本の平和と安全に重要な影響を与える事態【重要影響事態法第 1 条】	自衛隊による米軍の行動の支援を行う等後方支援活動 (弾薬の提供、戦闘機への給油等) 搜索救助活動、船舶検査活動、その他の措置自衛隊の活動範囲に地理的制約がない (東沙諸島等台湾の離島を占領、台湾海峡パシー海峡封鎖等)	自衛隊法 (84 条) 改正 後方支援活動としての物品 役務の提供等
存立危機事態	日本と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより日本の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追及の権利が根底から覆される明白な危険がある事態【事態対処法第 2 条第 4 号】	日本が直接攻撃を受けていなくても集团的自衛権の行使可、武力行使可 米軍艦艇や航空機の防護、機雷掃海、弾道ミサイル防衛、船舶検査、武力行使可 (航空・ミサイル攻撃、着上陸侵攻)	自衛隊法改正 武力攻撃事態法改正
武力攻撃予測事態	武力攻撃事態には至っていないが、事態が緊迫し、武力攻撃が予想されるに至った事態【事態対処法第 2 条第 3 号】	「武力の行使」のための「新三要件」 (1) 我が国に対する武力攻撃が発生したこと、又は我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追及の権利が根底から覆される明白な危険があること (2) これを排除し、我が国の存立を全うし、国民を守るために他に適当な手段がないこと (3) 必要最小限度の実力行使にとどまるべきこと	自衛隊法 (70 ~ 77 条) 改正
武力攻撃事態	わが国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態国際社会の平和と安全を脅かす事態【事態対処法第 2 条第 2 号】	個別的自衛権の発動対象となり、防衛出動を命じられた自衛隊は敵部隊に必要な武力行使 できる (在日米軍基地を攻撃、尖閣諸島先島諸島等を占拠)	自衛隊法 (70 ~ 77 条) 改正 武力攻撃事態法改正
国際平和共同 対処事態	国際社会の平和と安全を脅かす事態で、その脅威を除去するために国際社会が国連憲章の目的に従い、共同して対処する活動を行い、かつ、日本が国際社会の一員としてこれに主体的かつ積極的に寄与する必要があるもの	国連 PKO、国際的な紛争で米軍や多国籍軍を後方支援、人道復興支援活動、船舶検査による海洋安全保障活動、国際的選挙監視活動を行う 自衛隊の海外派遣を随時可能にする	国際平和支援法 PKO 協法改正 船舶検査法改正

大東亜戦争を知らない人が全体の95%に達した今日、いつ何のためにこの国と戦い、開戦も終戦もわからない。私は少しでも語り継ぐことが私の使命と思っています。

昭和十六年十二月八日、大日本帝国は大東亜戦争を戦い、支那、イギリス、フランスには勝ったが、アメリカの巨大な軍力と広島、長崎の二発の原爆投下で戦力の大半を失い、さらにロシア軍が不戦条約を破棄して北方領土を占領し、昭和二十年八月十五日、昭和天皇の決断によって大東亜戦争の中止を宣告された。当時日本の人口は約7138万人、戦死者約230万人、市民死者約80万人(広島長崎原爆死者約34万人)、海外戦地に約240万人であった。

終戦の八月十五日は、朝から晴天で暑かった。正午にラジオで玉音放送された。当時私は岐阜商業4年生で16歳、実家の焼け跡で炎天の中で父と二人で天皇陛下の詔書聞いた。その日から空襲警報がなくなり、疎開していた田舎の農家に電燈が灯り、食料を少しづつ分けて貰って命を繋いだ。雑草、穀物、小魚、昆虫、鳥類、果物等生きるために口に入るものは何でも食べた。幸い母校は焼けなかったので8月下旬から授業が始まったが、教科書もノートも無く先生の講話だけであったが、当時の先生は皆国士であり、大和魂が生きていた。校長先生以下各先生から命がけて祖国のために働けと教えられ、日本人は必ず再起すると激励された。

昭和21年までは教育勅語が生きていたので当時日本の9割が教育勅語によって育てられ、その遺産は絶対消え去ることは無かった。大日本帝国が焦土からわずか十年で再建できたのはこの

特別寄稿 八月十五日に想う



大和クラブ会長 国士 篠田喜作

教育勅語によって育った大和魂と大和撫子の力であると信じてやまない。しかしこの敗戦によって日本帝国最大の国難を天に自ら運命を神に預けられたが、最高位から最低位まで最も大きな落差を感じられたのは昭和天皇であろう。

昭和天皇は皇紀二六〇〇年(昭和十五年十一月)を全国民と共に祝福し、八紘一宇の精神(昭和初期、世界大恐慌の中、欧米主要国が経済優先で弱肉強食の搾取の構造に加わることなく家族の如く世

この絶対の決断なくして大東亜戦争を開始し、全国民玉砕をも覚悟した陸海軍も戦争終結の大混乱もなく、潔く敗戦を受け入れたのである。当時の内閣総理大臣東条英機は終戦に際して「私は最後までこの戦争は自衛戦であり、承認せられたる国際法には違反せぬ戦争なり」と主張し、「戦争責任について天皇に責任なし、当時は天皇に責任なし、当時の総理大臣たりし私の責任であります」と明言し、昭和二十三年十二月東京裁判によって絞首刑となった。昭和天皇は「戦争の責任はすべて私の責任であり、首相といえども皆私の命令によって行ったものであり、すべての責任は私一人にある」と

と明言されている。なんといい香り高いことか。世界における日本の存在価値を一人でも多くの日本人に知っていただき、今もって八紘一宇の精神が世界に広がることを願って止まない。

大和クラブ

大和魂と日本の歴史を伝承する!! (新憲法制定、教育勅語復活推進河野・村山談話破棄運動、千島列島・竹島奪還、北朝鮮拉致家族奪還運動) 会長 国士 篠田喜作 (岐阜市長森本町一―一―) ☎〇五八・二四五・五二八三 ※連絡いただいた方には会報と貴重な資料等送ります。

連載エッセイ

夕暮れの街 その92



新渡戸稲造・武士道(80) M&Uスクール学長 梅谷忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

東京オリンピック開会式の圧巻は、何と言っても二千機のドローンによる国立競技場の夜空に、地球儀やオリンピックマークの素晴らしいパフォーマンスを見せてくれたことだと私は思います。

それが1980年代から産業用に生まれ変わり、コンピュータの発達と相まって、2000年代には農業散布を始め色々な産業用ドローンが誕生しました。そして今日では、手軽に空撮をし、人跡未踏の場所や災害地など危険を伴う地域の撮影にも大活用されています。そして現在、ドローンを使った宅配サービスも実験段階に入りました。これが実用化されれば、交通状況に左右されずに荷物が配達できるようにになるので、物流業界は大変革が訪れるでしょう。

便利なのは危険なもの 古来より、人のためにと思って作った文明の利器には必ずその裏面があり、恐ろしい結果を歴史に刻んでいます。重

い荷物を運ぶ奴隷を見て不憫に思い、車輪を開発した人がいました。彼は、その車輪が彼等の苦しみを和らげたのを見て大満足し、この世を去りました。しかし、後年生まれ変わった時、その車輪が、大砲を運んでいるのを見たら、どう感じるでしょうか。

悪魔のドローン 昨年と違って、今年の香港では全くデモが行われません。その理由は、本来防犯に用いる顔認証システムにデモのリーダーの顔を記憶させ、摘発に使っているからです。また、トルコの軍メーカースTM社開発のKaragül 2というドローンは、二十機くらいの編隊で飛行し、敵や標的を見つけるとドローン自体が突っ込んでゆき体当たり

り攻撃を仕掛けるタイプです。このドローンには顔認証システムも搭載され、個々の場所や特定の人物を検知し、ピンポイントで個人の殺戮も可能です。この模様はYouTubeの動画でSTM社のコマースナルとしてアップされているから恐ろしい!そして、このドローン(Karagül 2)の一般名称が「Kamikaze drone」(神風ドローン)……旧日本軍の特攻隊からとったものです。

今、そのオペレーションを人間が遠隔地で操作して入りますので、攻撃には人間の判断が入ります。それだと数秒の時間差が生じるため、既にAI(人工知能)を搭載し、ドローン自身が標的を判別して攻撃を行う自立型殺傷兵器の開発に入りました。そして既に、リビアに於いてトルコ軍がこのドローン兵器で人間への攻撃が為されたかもしれないと国連が

報告しています。 「ドローンが、知性」を持ち始めた。止めるなら今! 「ドローンが、知性」を持ち始めた。止めるなら今! 「ドローンが、知性」を持ち始めた。止めるなら今!

「この事態はCORONA災禍どころの騒ぎではなく、既にAI(人工知能)の第一人者、マックス・テグマーク氏は、映画ターミネーターのドローン版に対して「人工知能時代に人間であるというところ」という本を書き、深い憂慮と危惧を示しています。

東京五輪が開会した後、多くの論評の中で陸上界のレジエンド、米国のカール・ルイス選手は「それにしても日本はよくぞ大会を開いてくれた。このコロナ禍でオリンピックを成功させられる国は世界にほとんど無い。選手たちは大会を開いてくれたことに感謝し全力を尽くした。そして世界の何十億という人が選手と同じ体験をすることが出来た。だからオリンピックは戦争、平和、怒り、幸せなどどんなことが起きても世界を一つにするのだと改めて感じた。今大会のヒーローは日本の皆さんだ」と述べている。銘記すべきだ。(令和3年10月KE)

世界は一つになれる コロナ禍と猛暑の中、7月23日から始まった東京五輪が8月8日に、パラリンピックは9月5日無事終わった。

57年前のオリンピック同様、自衛隊は多くの任務の中、特に競技会場周辺を含むわが国上空及び周辺海域の警戒監視、サイバーセキュリティ対策等をしつつ国旗掲揚、医療サービス、急送搬送、会場内外の整理等を行った。さらに自衛官選手15人が参加してレスリングフリー65kg級乙黒拓斗選手、柔道女子78kg級濱田尚里選手、フェンシング男子エペ団体の山田優選手3人がメダルを獲得した。黙々と五輪成功を陰で支えた自衛官並びに多くのボランティアの皆さんに感謝したい。

そして愛国心なき一部の反日政治家やマスコミの五輪開催反対と直前の関係者の相次ぐ不祥事の中で開催されたが、もし開催を辞退したならば歴史的に禍根を残し、日本は世界に対する信頼を失い、ひいては民主主義国家と専制主義国家の対立をさらに助長したであろう。

東京五輪が開会した後、多くの論評の中で陸上界のレジエンド、米国のカール・ルイス選手は「それにしても日本はよくぞ大会を開いてくれた。このコロナ禍でオリンピックを成功させられる国は世界にほとんど無い。選手たちは大会を開いてくれたことに感謝し全力を尽くした。そして世界の何十億という人が選手と同じ体験をすることが出来た。だからオリンピックは戦争、平和、怒り、幸せなどどんなことが起きても世界を一つにするのだと改めて感じた。今大会のヒーローは日本の皆さんだ」と述べている。銘記すべきだ。(令和3年10月KE)

新型コロナウイルス 大規模接種センター を激励慰問

七月三十日大阪防衛協会女性部池上淳子会長が女性部を代表して新型コロナウイルスワクチン接種自衛隊大阪大規模接種センター(六月十七日(九月三十日)十一月末日)に勤務する全員に栄養ドリンクを贈り、激励慰問した。



(写真後列中央はセンター長小池阪神病院副院長、前列左から増田1尉、池上会長、末長会員、土井1尉)

大阪防衛協会主催講演会 ポストコロナにおける 日本の安全保障

令和3年11月18日(木)16時開演

講演 第1部 1610~1730
「台湾有事と日本の課題」
織田 邦男氏 ※1
(おりた くにお)

第2部 1740~1900
「バイデン政権下の日米関係と
東アジアの国際情勢」
村田 晃嗣氏 ※2
(むらた こうじ)

場所 ホテル大阪インターナショナル6F
お申込み FAX又は電話にて氏名・電話番号をお知らせください 聴講 無料
大阪防衛協会 ☎&FAX 06-6202-8284

第6回「OSAKA防衛・防災 フェスティバル2022」

大阪防衛協会青年部主催の「私たちの誇り、自衛隊に会いに行こう」OSAKA防衛・防災フェスティバル2022が令和4年3月13日(日)、大阪南港アジア太平洋トレードセンター(ATC)とその周辺で行われる予定です。会員の皆様のご協力ご支援をお願いします。
※新型コロナウイルスの影響により延期又は中止とさせていただきます。ご了承ください。



女心の防衛論 「ワクチン」憂国論

大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜



近年、日本が「三等国」に成り下がった気がして、コロナの、特に「ワクチン接種」の混乱については、もう三等国以下だ。GW明けの新聞報道によれば、高齢者への接種が始まったものの、医療関係者の2割しか完了していなかった。ひどすぎる！

台湾有事も心配だが、それより地震や台風被害の多い日本に

ちなみに私自身は、6~7月に自衛隊大規模接種会場で受けた。予約も当日の流れもスムーズで、配慮が行き届き感心。三等国以下でも自衛隊は一流と安心した。

「サヨクに遠慮して、マスコミが報じていないだけで、ちゃんと自衛隊員は優先接種を受けているよ」と夫。「今の行政レベルで、本当にそう思う？」「思えない」
そうなのだ。
生クリームケーキを大人数で「公平」に分けるため、その方法をあれこれ考えているうちに、腐って食べられなくなる、あるいは、皆、老いて死ぬ。「公平」を極めると、そうやってしまう。日本のワクチン接種初動は、まさにこれと似ていた。

かつてユダヤ教の指導者は、居住指定地区(ゲットー)で、医薬品不足の場合、患者の症状や年齢によって、「民族」としての生き残りを目的として、供給優先順位を決めたと聞く。
自衛隊員の方々も、たとえば土砂災害で、どこから掘るかにより、結果的に誰から救われるかを決める辛い仕事をされているはずだ。「全員を公平に」は、絶対に無理なのだ。
大阪では、高齢コロナ患者病院搬送後回しを指示したと中堅幹部が非難されたが、私は彼に同情する。彼の指示で、現場は迷わず敏速に動いたはず。
本来、医療崩壊状態において、首長が優先順位を判断すべきだったのだ。
今回の拙文に反対の方も多くと推測するが、理解してください。高齢者の方もおいでだろう。そんなシニアの方々と、コロナ収束後、「日本高齢者連盟」なる看板のもとに集い、口うるさいジジイとババアの忌憚のない意見交換ができれば、なんと夢想している。

織田 邦男氏 プロフィール

(おりた くにお) ※1

1952年愛媛県生まれ。1974年(明石高校から)防衛大学校卒業(18期)、航空自衛隊入隊、F4戦闘機パイロットなどを経て1983年、米国の空軍大学へ留学。
1992年米スタンフォード大学客員研究員、第6航空団司令、航空開発実験集団司令官を経て、2006年航空支援集団司令官(イラク派遣航空部指揮官)、2009年航空自衛隊退職 空将
現在、織田コンサルタント代表、東洋学園大学客員教授、国家基本問題研究所評議員、日本戦略研究フォーラム政策提言委員等
著書「現代防人考」「安全保障の基礎知識」等雑誌「正論」等に多数投稿、講演TV出演

村田 晃嗣氏 プロフィール

(むらた こうじ) ※2

1964年神戸市生まれ。同志社大学法学部卒業。米ジョージ・ワシントン大学留学(フルブライト奨学生)を経て、神戸大学博士(政治学)。現在、同志社大学法学部教授。
この間、法学部長、学長を歴任。
京都日米協会会長、京都国際文化協会理事長、国際安全保障学会理事、アメリカ研究振興会評議員、日本放送教会(NHK)経営委員会委員長代行。外務省ODAに関する有識者懇談会委員、防衛省参与なども努めた。
サントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞、読売論壇新人賞を受賞。
専攻はアメリカ外交、安全保障政策研究。
著書に『銀幕の大統領ロナルド・レーガン』(有斐閣、2018年)、『大統領途ハリウッド』(中公新書、2019年)など多数。

行事メモ

(令和3年10月~12月)

- 自衛隊大阪大規模接種センター(大阪) 11月30日(火)迄
- ☆空自一般幹部候補生部内課程卒業式(奈良) 10月11日(月)
- ☆空自飛行幹部候補生後期入校式(奈良) 10月18日(月)
- 近畿地区防衛協会青年部研修滋賀大会 11月13日(土)
- 大阪防衛協会主催講演会 ※1(大阪) 11月18日(木)
- 関西安全保障セミナー(大阪) 11月30日(火)
- ☆空自一般幹部候補生課程卒業式(奈良) 12月21日(火)
- ※中部方面隊創設記念日、八尾駐屯地創立記念日、第3師団追悼式等の行事は中止となりました。

(□陸△海☆空○共通●防協)

会員増勢運動について ご協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方一帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。
協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行フェスティバルや婚活活動等を行ってまいりました。
さらに最近では世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。
自衛隊は今後ますます厳しい環境と条件の中で本来の防衛任務を遂行してまいります。
「国を守る気概」示そう！

年會費
・特別会員(法人) 一口 三万円
・賛助会員 一口 一万円
・普通会員 一口 三千元
・家族会員 一口 二千元

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。
〒541-0004
大阪市中央区北浜三丁目一十九番
淀屋橋ホワイトビル701号
大阪防衛協会事務局
電話・FAX 〇六-六二〇二-八二八四
メールアドレス [ek@ace.odn.ne.jp]

図書紹介 リーダーを目指す皆さんへ

人を知り、心を動かす

井上 礼之 著

第1章 私は「人の成り立ち」を決めよう
第2章 信じる第3章 感情を動かす
第4章 夢がある第5章 突き進む
第6章 叱り、褒め、突き進む
第7章 叱り、褒め、突き進む
第8章 叱り、褒め、突き進む
第9章 叱り、褒め、突き進む
第10章 叱り、褒め、突き進む

ダイキン工業会長 井上 礼之 著
(大阪防衛協会会長) 21年4月発刊
プレジデント社 定価 1700円

事務局だより

○変異型コロナウイルスが世界中に蔓延して感染防止のためあらゆる防止策が講じられておられますが、未だ衰える気配も見えませんが、会員の皆様におかれましてはワクチン接種を終えられ、どうかコロナウイルスが消滅するまで自己防衛に励んで下さい。

○本年の自衛隊関連の恒例の行事が大きく変更・中止され、会員総会等も中止させていただきます。ご容赦ください。

○大阪防衛協会主催講演会のご案内
大阪防衛協会主催講演会のご案内
大阪防衛協会主催講演会のご案内
大阪防衛協会主催講演会のご案内

TEL 06-6202-8284
FAX 06-6202-8284
E-mail ek@ace.odn.ne.jp